

2019

上江洲義秀

# 今帰仁 新春光話

「おめでとう、そしてありがとう」

YOSHIHIDE UEZU KOUWA SELECT 2019.1.1



おめでとう、そしてありがとう

この琉球で今日の良き日を皆さんとともに迎えることができたことを心から嬉しく思います。

今どこの家庭でもこの良き日を迎えて、

新年好しんねんはお（中国語）。

新年おめでとうございます。

フェリスアンニョヌエボ（スペイン語）。

で、世界は（新年を）迎えるでしょう。

しかし私は「おめでとう、そしてありがとう」で皆さんに綴つづりたい。

2018年、皆さんとともに歩み、喜びも苦しみともに歩んでまいりました。どんな厳しさのなかでも耐えて耐えて、成長輝いて見せてくださったわが子たち心からおめでとう、そしてありがとうと綴りたい。

幾転生という人生をかけて、あたかも本質から分離して生きているという錯覚で「私、自分さえよければいい」「他はどうでもいい」…その低い意識状態から、すべてに愛を与える、すべてに手を差し伸べる成長を見せてくださったひとりひとりに心からおめでとう、そしてありがとうと私は綴りたいです。

これからも一瞬一瞬、我々は不死不滅、永遠の命を生きるかぎり、この愛を演ずる舞台の上に立ち、これは肉体という衣装を脱いだからとて終わるものではありません。

無限にして永遠に我々の愛を演ずることは終わりを迎えることはありません。無限の愛を、無限の智慧を、無限の力を、今の厳しいときであればこそ、幾転

生も鍛えて鍛えて鍛え抜かれたわが子たちの真実を示してもらいたい。ひとりだつて誰かよりも特別な人間もいなければ、低い者もいません。

ともに手を携えて、無限の愛を、無限の智慧を、無限の力を、全世界で苦しみ生きる兄弟姉妹にあなた方の本質を示してもらいたい。

我、本質なり。本質を智慧として力として愛としてはつきり受け止めて。

着飾る必要はありません。着飾ることなく皆さんの本質は無限の愛そのものなんです。

意気込む必要さえありません。意気込まずとも皆さんの本質は無限の愛そのものなんです。

今生こそ、わが子たちの無限の愛を示す時ではないでしょうか。

なぜ幾転生もともに手を取り合つて……もちろん今生集つたひとりひとりがすべて同じ国で学び進んできたものではありません。

ある子はギリシャの当時、ある子はヒマラヤの当時、ある子はインドと、学んだ場所は違ふとも、その根源である本質はいつどこで学んだとて揺らぐことはなかつたことを思い出してほしい。

本来のあなた方は無限量で生かされていることを知ってもらいたい。

誰が誰よりも何を不足として今ここにあるでしょうか。

### 幾転生のあなた方を見守ってきたのは「私」

本質は人の上に人を創らず、本質は人の下に人を創らず。

本質そのものをあなた方は受け継いで、今あるということを知ってほしい。

どこで何を見たことでしょうか。

どこで何を思ったことでしょうか。

あなた方が目を向けているところ、あなた方がさまざまな思いをもつたところ、

常に常にそこに私がいるということを知ってほしい。

幾転生のあなた方を見守ってきたのは誰なのか？

私を感じることができなかつたでしょうか。

あなた方の喜びのときも、苦しいときも、悲しいときも、嬉しいときも、絶えず絶えずあなた方にささやいた私を、ささやいた言葉を皆さんは忘れたのか。希望を失い落胆しているわが子には、常に頭を上に向けよと。

上とは本質です。上とは愛です。上とは神です。

そこから目を逸らすことなく、常に常にそこをしつかり見つめているならば、私を感じることができたではないでしょうか。

今生、ここに集まっているわが子たちのなかにも、幾転生という人生の過程のなかでははつきり私を見た方々もいるんです。

ただ今生の波にもまれ、一時心を揺らぎ、私を忘れていただけにしかすぎません。

錯覚から覚めよ、幻覚から覚めよ、夢から覚めよ。

もう一度真実なる私の姿を見てほしい。

この真実なる私はあなた方の手の届かぬ遥か彼方にましますではありません。

今、即あなたのなかに生きています。

そのあなたそのものがこの私なんです。

いつ私を見てくれるんだろう。

いつ私を思い出してくれるんだろう。

無限の翼を広げ、あなた方がいつ帰ってきてくれるか。いつあなた方をこの翼で抱きしめることができるかを、あなた方以上にこの私がある方ひとりひとりの……ひとりも落ちることなく欠けることなく、あなた方の帰りを待ちわび

ていたことをこの一瞬、この瞬間、思い出してほしい。

誰一人、この翼に抱きしめることを拒んではなりません。

誰一人、欠けることなく落ちることなく、無限のこの愛の翼に抱かれてほしい。これが何百、何千、何万（回）という転生を歩んできたわが子たちの思いであることを知ってもらいたい。親の願いであることを知ってもらいたい。

この現象という結果の世界で、どんなに高波があなた方の目の前に押し寄せたって、あなた方の愛の前ではすべて力を失って朽ち果ていくだろう。すべて力失ってあなた方にひれ伏せるでしょう。

すべてのすべてを支配する力を与えられたわが子たち。

この幻の世界で、この幻影・影の世界で、何を怖れるものがあるでしょうか。幾転生も訓練を受けてきたではないでしょうか。

自らに目覚めなさい。

自らの心を開きなさい。

小さな自分を捨てなさい。

神の光に目を向けてほしい。

それはあなた方とともにある私です。

あなた方の目を向けるとともに、あなた方の思いのなかに、常に常にそこにあるのは私であることを知ってもらいたい。

一瞬だつてあなた方と分離したことがあるでしょうか。

なぜならば、あなた方の本質こそが私であり、私の本質こそがあなた方であるゆえに、常に無限にして一体であったことを今日のこの良き日、この波動のなかで思い出してほしい。

なぜ自らして自らを醜く無能・無力に皆さんは下げようとするんだろう。

無限にして永遠の輝きを、本質として皆さんは今、放ちうることができること

を知ってもらいたい。

この世の影・幻・幻影に怯えてはなりません。

あなた方の愛こそは、無限光輝き、全世界、全宇宙を照らす光であることを知ってもらいたい。

この世の無智が、闇が、悪が、迷いが、わが内なる愛という光に打ち勝てたものがあるでしょうか。指一本触れることができたでしょうか。

この世の無智が、闇が、悪が、迷いが、わが内なる愛の光に指一本触れることはできなかったことを、今、思い出してほしい。

幾転生という人生の過程のなかでは、それを体験したわが子たちが今ここにおられることを知ってもらいたい。

無能・無力のあなた方ではありません。無智・迷い人ではありません。

無限の能力を無限力として、常に常にあなた方の内で今、噴火しようか、今この伝導体をとおして顕現してくれるかを常に待ちわびていることを知ってほしい。

どんなにこの現象の世界で悩んだり苦しんだり悲しんだとて、あるいは心配や不安や恐怖に怯え生きても、あなた方が常にその愛という根源に背を向けているゆえに、その影・幻・幻影が力をもってあなた方を襲ってきたことであって、愛輝いて正面に立ち向かってみてください。

すべてのすべてはあなた方にひれ伏せるでしょう。

すべて影・幻・幻影はあなた方から退いていくでしょう。

あなた方こそが真の王者です。真の勇者です。

この現象、結果の世界でどんなに戦い数千名の敵を倒したところで、それは王者ともいえません。勇者ともいえません。勇士ともいえません。

いくつも城を攻め落としても、それが王者でしょうか。それが真の勇者、勇士といえましょうか。

弱き者を愛し、弱き者に愛の手を差し伸べ、弱き者に光の道を示し、あなた方の境地に導いてあげてこそ、それそのものが真の勇者であるわが子たちである

ことを知ってもらいたい。

己とはすべてです。

ならばすべてのすべて、あつてあるものを愛し生きれるわが子たちになつてほしい。

嫌う者がひとりだつていてはなりません。

すべてをいたわり思いやり、すべてを愛し生きる。

ひとり愛せないものはすべてを愛せない者、全体を愛せない者。

その愛せないひとりが私であることを知らねばなりません。

あなた方がゆるせないそのひとりのなかに、愛せないひとりのなかに、嫌つて  
いるひとりのなかに、そこに私が無限にしてあることを知ってもらいたい。

我はすべてであり、すべて我なり。

我は全体であり、全体、我なり。

それが親である私の意識ならば、ともに一つであることを知ってもらいたい。  
あなた方も全一体の意識状態にして、すべてのすべてを愛し、自分さえよければいい……自分とは全体なんです。自分とはすべてなんです。自分とは無限なんです。

その本質が無限であるならば、その無限が自分であるならば、我々はすべての  
すべて、あつてあるものを愛し生きるあなた方であつてこそ、わが翼のなかに  
融合できることを知ってもらいたい。

なぜならば、一点空間なく私は至るところに、どこにでも遍満し遍在している  
ことを知ってもらいたい。

影に隠れてどう表現していても、どう語っていても、何を思つていても、そこ  
に私がいるということを皆さんは理解してもらいたい。

私はここにいてあそこにいない、あそこにいてここにいない、ではありません。  
無限にしてどこにでも遍満し遍在していることを知らねばなりません。

無限なる一元を、ただ皆さんと一にして多身のあらわれであることを知っても

らいたい。

本質は一にして多身。

姿・カタチ・形態は異なっているけれども、表現の方法は異なっているけれども、生まれ出てきた場所・環境は違おうとも、皮膚の色が黒かろうが白かろうが、私である事実は変わりません。

たとえばあなた方より一步遅れた魂未熟な者にも、成長を遂げた魂高き者のなかにも、平等に私はそこにあるということを知ってもらいたい。

私であるあなた方はいても、で、私であるあなた方、あなた方である私はいても、一秒あるいは何ミリ、分離した私、あなた方はどこにも存在しえないこと。

### 無限にして永遠があるのみ

我々には2018年、2019年はありません。

今ここに実在するのは、無限にして永遠があるのみであることを知ってもらいたい。

何が実在しましょう。

過去があるでしょうか。未来があるでしょうか。

今、無限にして完全意識がここに実在としてあるのみ。

「神よ、神よ、神よ」。それは肉体としてのあなた方が本質を見、呼びかけていることを皆さんは理解してほしい。

遠い遥か彼方に呼びかけているではありません。

わが内に実在する本質・根源そのものに早く融合してほしい、一体であってほしい、を皆さんは理解してほしい。

本質を外に求むることなかれ。

本質は今、即あなたであることを知ってもらいたい。



どこに本質を？

本質はわが内にあり。

それは肉体という側面からみてわが内であって、本質そのものであるならば、わが内もわが外もなく「我そのものなり」を皆さん言い切ってそれを顕現してもらいたい。

肉意識は真我なるあなた方の本質へやがてひれ伏せるときがくるだろう。

あなた方の兄弟姉妹である偉大な方が、

「鈍重なライオンと神の羊がやがて戯れるときがくるだろう」と。

私とあなた方との一体感です。決して分離した私、あなたはいません。

鈍重なライオンとは、間違った方向に常に常に歩もうとしたその分離感である偽我だったことを理解してほしい。

しかしその肉体という偽我がなかったならば、我々は兄弟姉妹をいたわり思いやることを理解することはできなかつたことでしょう。

なぜならば、兄弟姉妹を苦しめていることは自分自身を苦しめていること。

兄弟姉妹を愛せない者は、己自身を愛せない者……その肉意識という偽我をとおして皆さんは学び、ここまで成長してきたことではないでしょうか。

この分離した肉意識も、やがてあなた方の本質である真（神）我にひれ伏せるときがくるだろう。

鈍重なライオンと神の子羊が戯れるときがくるだろう。

これ真（神）我一体の境地。真実の神懸りがといえます。

あなた方が何百、何千、何万（回）という転生の過程をとおして望んできた真実の神懸り。西洋で真実のオーバースhadウといえます。

それは、誰彼をとおして皆さんはメッセージを受ける必要もありません。誰彼をとおして答えを得る必要もありません。

あなた方の思い、即わが思い。

今、私がわがと言っているのは「本質そのもの」をわがと説いていること。じゃあ、あなた方の思いはわが思い、ではないでしょうか。一つであるならば、わが思い、即、本質の思い。

わが言葉、即、本質の言葉。

わが表現、即、本質の表現。

真（神）我一体の境地。真実の神懸りといえます。

いつかあなた方も私が見給うがごとく、あなた方も見る時がくるでしょう。

私が思い給うがごとく、あなた方も思う時がくるでしょう。

私が表現し給うがごとく、あなた方も表現する時がくるでしょう。

そこには一点の区切り、差別・分離のない、大いなる無限の一元があったことを知るでしょう。

わが思いとは、わが言葉とは、わが表現とは、一つしかないんです。

すべてのすべてであってあるものに、完全なる思い、完全なる見方、完全なる顕現。

それを本質の顕現、真（神）我顕現と皆さんは説いています。

真（神）我顕現、そうあるために、まず皆さんは我に目覚めてほしい。

それを真（神）我覚醒といいます。真の我に目覚める。神としての我に目覚める。

じゃあ、そこが人間として衣装をまとい、まず何百、何千、何万（回）という転生という過程をとおしてつかむべきところ。

で、真（神）我覚醒のあとに、不死不滅、永遠に真（神）我顕現が続いていくだろう。

はじめなき終わりなきあなた方。それが真実のあなた方。

どこではじまり、どこで終わりもない。どこで終わり、どこではじまりもない。

皆さんは無限にして永遠なんです。

なぜ、円は無限の象徴なのか？

皆さん、どこではじまり、どこで終わりがあるでしょうか。

どこで終わって、どこではじまりがありましかうか。

永遠に続きます。不死不滅、永遠の象徴が円なんです。

これが真実のあなた方の姿なんです。

ここに描いているその○<sup>マル</sup>があなた方ではありません。それは象徴で描いただけであつて。

久遠<sup>くおん</sup>にして常在、不滅にして実在であるあなた方。

それは無限意識・普遍意識・宇宙意識であり、神性意識・靈性意識・仏性意識であり、それ以上あなた方が求めようとしたつて、それ以上のものはありません。それを皆さん自身が確立した暁<sup>あかつき</sup>は、顕現そのものが不死不滅、永遠に続きいくことをあなた方は知ります。

終わりをみてはなりません。

限界をみてはなりません。

久遠にして常在、不滅にして実在であるあなた方に、一点だつて、止まりもなければ休みもありません。永遠の働き手であるあなた方が本質そのもの。本質であるあなた方が休んでみてください。

宇宙は崩壊します。地球は崩壊します。すべては失います。

あなた方の本質が、すべてのすべて、あつてあるものをおして永遠に働くゆえに、すべての存在があることを知ってもらいたい。

すべてを存在至らしめているすべての原因としての本質があなた方であるならば、人生が悪い、運命が悪い、何が悪いで、泣き言なんてどこからあらわれましょう。

不平不満なんてどこから湧いて出てきましょう。

久遠とは永遠のあなた方。

常在とは常にあるあなた方。

不滅とは、一度だつて破壊されたことのないあなた方。

実在とは実際にあるあなた方。

じゃあ、皆さんはいつどこで死んだ、どこで生まれた……どこで生まれ、どこで死んだがあるでしょうか。

無限にして永遠にここに皆さんあるんです。

## あるもの

皆さんは「あるもの」を見失ったのは、本質から分離して生きてきたがゆえに、影・幻・幻影という「ないもの」に、皆さん「ある」という錯覚をしてきただけにしかすぎません。

あるものは私のみがあるものです。

あなた方と一体である私だけがあるものです。

それはこの現象の世界では、私であるとともにあなた方という表現しかないんです。

じゃあ、「あるものである私」と「あるものであるあなた方」に、一点の区切り、差別・分離があるでしょうか。

女性という衣装をまもっていても、男性をいう衣装をまもっていても、中国で生まれ育ったその皆さんを中国人と表現します。日本という国で生まれ育って日本人と表現します。それそのものに「あるもの」はあなた方と同じように宿っているではないでしょうか。

もう、この現象という結果の世界では、私であるあなた方、あなた方である私、ともにあるもの。それ以上、表現の方法はないんです。

それ以上なことは、どこでどう探して、わが子たちに説明のしようがあるでしょうか。

あなた方の原因としての本質こそが無限にして一元にしてあるもの。

二元を感じ、二元を見るあなた方であってはなりません。

だから、あなた方にこの「アジュナ」というその一元を見るこの目の方に意識を向けさせていることを知ってもらいたい。

一元のなかに「あの者」が「この者」が「誰彼」が、どこに存在しうると言いましょう。

私であるあなた方ほかに、あなた方である私のほかに、何者も存在していないことを知ってもらいたい。

この現象という結果の世界の年月にすれば、2018年振り返っても、この現象という結果の世界では、さまざまな現象が起こったでしょう。

それもすべて母なる大地であるこの地球が、聖なる惑星の復活のために、黄金時代を迎えるために、準備をしているだけにしかすぎません。

必要であるならば2019年という年は、2018年以上に荒れ狂ったその流れとなるでしょう。

それに皆さんは目を向け振り回されるあなた方になつてはなりません。あなた方が向けるべき目は、あなた方が向けるべき思いは、常に常に根源である私そのものに目を、思いを、向けるあなた方であってほしい。それを常に、

「神よ、神よ、わが内なる神よ」。

それはあなた方の本質です。ここに融合したとき、荒れ狂っているこの現象そのものが影・幻・幻影であることを知ります。

力もって荒れ狂っているように皆さんの目に映っているだけにしかすぎません。

あなた方ほどに無限力を顕現できるものではありません。

いつも説いているように、この世の物質は勝手に動くことはありません。この世の物質は勝手に働くことはありません。台風で荒れ狂うこと、天変地異・天候異変で荒れ狂うこと、地震や雷が唸ることも、すべて無智・盲目・迷った人間が、力を与えて、あるようにそこに動かしているだけにしかすぎません。

しっかりとその根元<sup>ねもと</sup>を皆さんが凝視して見てください。しっかりとその根元を見つめ見てみてください。

何の力もないことを知ります。

本質であるあなた方の前では、すべては無力なんです。無力に力を与えてあたかも恐ろしい現象のように思わせているのは、あなた方のその間違ったその意識状態、思いの状態、心の状態であることを知ってもらいたい。

あなた方の本質ほかに力あるものはありません。

あなた方、本質ゆえに無限力を顕現できるのはあなた方であって、台風や天変地異・天候異変（は）限界にぶつかります。限界があります。

無限に暴れることはありません。

必ず皆さんが正しく見つめていけば、正しくその現象世界を理解できるならば、すべて力失ってあなた方の前にひれ伏せていきます。

あなた方こそが不死不滅、永遠の勝者なんです。ないものに力与えてはなりません。

汝、見るものすべて受け継がん。

汝、聞くものすべて受け継がん。

影・幻・幻影という外側を見せつけられて、外の声を聞かされて、力与えて、あたかもあるように、錯覚をする己であってはなりません。

唯一の力は皆さんの根源そのものであること。それがすべてなんです。

我、神なり。

我、神なるがゆえに 無限の智慧、無限の力、無限の愛の泉・宝庫わが内にあり。

2018年……幻にしかすぎません。

迎えようとする2019年……幻にしかすぎません。

すべてのすべて、あつてあるものなかに今、生きるあなた方の本質こそが真実あるものなんです。これこそが実在なんです。

過去・未来を思い悩むことなかれ。

過去は過ぎ去った記憶です。未来は記憶の混じった希望にしかすぎません。

過去・未来に誰が生きていることができましょうか。

過去・未来は真理にあらず。

あなた方が神であり、愛であり、本質そのものであるこの一瞬、この瞬間こそ  
実在というんです。

過去は皆さんの成長のステップにしかすぎません。だから、思い悩む必要はありません。常に常に根源へ顔を向け、絶えず我が本質よ。

我が…というのは、分離したことを説いているではありません。

あなた方がそのものであることを、我が本質。

我が神よ。

我が本質よ。

我が命よ。

誰彼を説いているのではないんです。

あなた方を説いているんです。

だから、たまに大声を張り上げて、いつも眠り眠りに陥るわが子たちに、  
大宇宙に遍満する我が神よ。

なぜわが子たちは叫んでも叫んでも眠りに陥るんだろう。

まだ、わが声を記憶に引き出すことができないのか。

幾転生という人生の過程のなかで見た体験もあるにもかかわらず、聞いた体験  
もあるにもかかわらず、まだ眠りに陥っていくのかと大声で叫ぶんです。

しかし、2018年の素晴らしいわが子たちを見せていただきました。

今までは分離した自分さえ良ければいい。

しかし、苦しみ生きる兄弟姉妹に、

どうすれば愛の手を差し伸べることができるか。

どうすれば光の道を示すことができるのか。

多くそのわが子たちを見せていただきました。

だから、この現象世界のただ「おめでとう」ではなく、あなた方の成長し美しく輝いていくあなた方の姿に「おめでとう」であり、見せてくださったあなた方に「ありがとう」と私は綴りたいんです。

これ以上の至福が、あなた方の成長を喜ぶほどの喜びが、あなた方の成長を輝く姿を見るほどの幸せが至福がどこに存在しえましょう。

おそらく、わが子たちを任されたこの上江洲の肉体を背負っているその根源こそが、もう世界一の、宇宙一の幸せ者といえるでしょう。

今も燦然と輝いているあなた方の姿が私の意識に映っているんです。

なんて想像すらできない喜び、なんて想像すらできない至福、そこに浸っているんです。そこを今、見ているんです。

この建物いっぱい全世界の富を積んだとて、あなた方の輝きいる姿。一步一步成長していく姿。何で表現することができましようか。

なぜならば、あなた方の輝きは無限光。あなた方の美しさは無限の美しさ。

何をもつても匹敵することもできなければ、たえようがないんです。燦然と輝く無限光を今あなた方ひとりひとりに私は見つけているんです。

しかし、その無限光放っているのも私。無限光見つけているのも私。

なんてこの現象の世界で表現のしようがない。

これから皆さん自身がそれを味わい、実際に感ずる…実感。

で、苦しみ生きる兄弟姉妹に「生きる聖書」として皆さん自身がそれを見せてほしい。

今まで真理は本や書物をとおして学びました。

聖書・聖典・仏典を読み、お経を唱えて学びました。

もし、年月をつけて2019年というならば、もう2019年はあなた方がそ



のものとして、そのものを顕現する時なんです。あなた方ひとりびとりが<sup>ら</sup>一にして多身であるあなた方が、生きる聖書として顕現できるあなた方の時なんです。そのためにこの時代に生まれ合わせた偉大なあなた方なんです。

誰と分離してはなりません。かといって「識別を怠るな」(※ではありません)。しっかりと識別をするなかにも、根源をすべてのすべて、あつてあるものにしつかり実感できるあなた方であつてほしい。

無限の美しきあなた方。

無限の愛であるあなた方。

それ以上のあなたが、それ以上のあなた方が、どこを探しても見出し出すことはできないんです。

## 真実の観光

世の人間はやがて初日の出を見ると言われて、「どの位置から見えるだろうか？」で走り回るでしょう。

私はここに立ちながら、あなた方ひとりひとりにその日の光は、今の今、無限光輝くあなた方として見ていることを知ってもらいたい。

それが「真実の観光」でもあつたことを知ってもらいたい。

観光という文字は、観<sup>み</sup>ずる光、観<sup>み</sup>る光と書くんです。

東京タワーを見ました。富士山を見ました。その背後に実在する根源を見ることのできぬならば、観光でもないんです。観光バスでどこかに行つてもない。ツアーを組んでどこかに行つてもない。今ここに立ちながら、いるところ、行く場所で、すべてのすべて、あつてあるものに根源・本質の見られることを

※カッコ内は光話中の表現のままです。

「観光」というんです。

無限光輝くあなた方を、今、私は観光しています。  
宇宙一の日の出を見えています。

どこそこに行く必要さえもないんです。

かといつてこの現象世界の日を、太陽を、私は否定するものではありません。  
わが内に見れぬ者は、外に見ることはできません。

わが内に見れる者は、内に外にすべてにそれを見ること、感じることに、実感で  
きることを知ってほしいということ。

我、光なり。あなた方も光なり。

我、愛なり。あなた方も愛なり。

我、完全なり。あなた方も完全なり。

我、無限なり。あなた方も無限なり。  
なんです。

本質を命と説いて、

我、命なり。あなた方も命なり。

我の命、あなた方の命は全体の命、全体の命こそがすべての本質・根源。

「この一瞬、この瞬間」が、皆さんがその境地に至る時なんです。

昨日でもなければ、明日でもありません。この瞬間です。

もう、この境地に入りかけている方々も何名かいます。強い意志と忍耐と勇気  
と努力をもってして入り切ってほしい。

この境地を失ってはなりません。

本当に一にして多身としてあらわれたわが子ひとりひとりに、

「おめでとう、ありがとう」と私は伝えたい。

「無限のありがとう」そして「無限におめでとう」と言いたいです。

あなた方ひとりひとりの輝きを見れるほどに、どこに幸せが、どこに喜びが、どこに至福なんてあるでしょうか。あなた方自身に私はそれを見出すことができたことに、「本当におめでとう。で、ありがとう」と綴りたいです。

まあ、新しい年を迎えているから、今年という表現をしましょう。今年も皆さんとともに歩み、あなた方の喜びをすべての喜びとして、あなた方の苦しみをすべての苦しみとして、我々は、すべての兄弟姉妹の成長を願い、まあMさんもLさんもAさんも、これまでのより一層の智慧を、力を、愛を顕現していきたいと思っています。

誰が高い、誰が低いありません。誰が大きい、誰が小さきもありません。本質にしてともに同一です。本質にしてともに一体です。

じゃあ、何が変わるのか？  
ただ、表現の方法が違うだけ。  
あなた方にはあなた方以外に表現のできない、素晴らしきその特質をちゃんと備えて生かされています。

我々のこのグループの意味は、ひとりひとりに潜んでいるその特質を引き出し、それを磨き上げて、兄弟姉妹の幸せのために、世界平和のために、顕現するために与えられた宝物であって、決して「私が、私が、私が」で自負をもつためでもなければ、自慢するためでもなければ、威張るためではないことを知ってほしい。

今年もLさんはLさんの特質、MさんはMさんの特質、AさんはAさんの特質。皆さんひとりひとは、また皆さん自身が誰をも真似て真似ることのできない素晴らしい宝物を引き出して、磨き上げて、兄弟姉妹のために顕現していきたいと思っています。

この一瞬、この瞬間という良き時を、良き日を、琉球で皆さんとともに迎える  
ことができたことに心から感謝します。

本当にひとりひとりに「おめでとう、ありがとう」と私は綴ります。

ありがとうございました。

そしておめでとうございます。